

ジェネリック医薬品の適正使用推進のためのロードマップ(H25～29)に基づく事業実績概要

事業内容	実施結果
使用促進策の実施についてジェネリック医薬品安心使用協議会による検討	学識経験者・医師会・歯科医師会・薬剤師会・病院薬剤師会・卸業者・消費者団体・保険者からなる協議会を設置し、推進策を検討するとともに、各関係団体の協力連携を図り推進策の円滑な実施を図った。 ○毎年開催
県民への情報提供	
啓発資材の作成・配布	
リーフレット作成	県内薬局に配布し、薬剤師がジェネリック医薬品の知識普及のために使用した。 ○毎年作成、計677,420枚
啓発バッジ作成 「ジェネリック 薬剤師にご相談を！」	県内薬局に配布し、薬剤師が胸につけてジェネリック医薬品の使用推進の啓発を行った。 ○H28作成、10,340個
市町レベルでの啓発	モデル事業として、篠山市に委託し、ジェネリック医薬品適正使用協議会の設置運営、市民へのアンケート調査、その結果を基にリーフレットを作成し市民に配布するなど、地域単位でジェネリック医薬品の普及啓発を行った。 ○H26年実施
出前講座等の実施	
出前講座の実施	各地に出張しお薬教室を開催して、ジェネリック医薬品に関する正しい知識の普及啓発を行った。 ○毎年実施、計172回開催、対象者13,500名
ジェネリック医薬品工場見学バスツアー	ジェネリック医薬品の工場で製造過程及び環境を実際に見学することで、ジェネリック医薬品へ理解を深めるなど普及啓発を行った。 ○H28、H29実施、保険者及び消費者計47名参加
医療従事者への情報提供	
汎用ジェネリック医薬品リストの作成(ジェネリック医薬品の採用品目調査)	地域の中核的な役割を果たす病院で採用しているジェネリック医薬品を調査して「汎用ジェネリック医薬品リスト」を作成し、医療機関や薬局がジェネリック医薬品採用の参考となるよう情報提供を行った。 ○H25リスト収載2,113品目 H27リスト収載3,789品目 H29リスト収載4,003品目
ジェネリック医薬品の使用実態調査等の実施	病院・薬局のジェネリック医薬品の使用実態を調査・集計し、医療従事者が安心使用促進に向けての現状・課題を共有し理解を深めるよう情報提供を行った。 ○H25、H29実施
薬剤師がお薦めするジェネリック医薬品調査	患者に人気があるジェネリック医薬品、調剤しやすいジェネリック医薬品等、薬剤師自身がお薦めするジェネリック医薬品を調査し、医療機関や薬局がジェネリック医薬品を選択する際に参考となるリストを作成し県内薬局・医療機関に情報提供した。 ○H28実施 リスト収載324品目

ジェネリック医薬品の品質確保	
ジェネリック医薬品から先発医薬品に戻った事例調査及び品質確認	薬局を対象に、患者が使用しているジェネリック医薬品が先発医薬品に戻った事例の調査を行った。その中の一部について、溶出試験により品質確認を行い、その結果を公表した。 結果は、全て溶出規格に適合する等、問題はなかった。 ○H25、H26、H27実施 溶出試験：18成分65製剤 粘着力試験：2成分19製剤
ジェネリック医薬品の成分・品目に関する試験検査	厚生労働省の計画に基づきジェネリック医薬品の品質試験を実施した。厚生労働省はこの結果をとりまとめ、定期的に公表等を行っている。 ○毎年実施、試験品目数計：10成分111製剤